

九月は本格的な台風シーズン。

近年は台風が発生する海域の海水温が一年を通じて暖かいこともあり、夏の内から大きな台風が発生、日本列島を直撃するコースを取ることも多くなりましたね。私たちは台風に向けてどのような知識を身に付け、準備をすればよいのでしょうか。

### ●台風と呼ばれる条件は？

台風と呼ばれるには条件があり、熱帯の海上で発生した低気圧(熱帯低気圧)のうち、最大風速(10分間平均)が17.2m/s以上となったものが「台風」として定義されています。

熱帯低気圧は世界のさまざまなところで生まれていますが、これらはどこに存在するかによって名前が変わり、例えば、強い(最大風速33m/s以上)勢力をもった台風が東経180度より東に進んだ場合はハリケーンと呼び名が変わります。



### ●地域で異なる熱帯低気圧の呼び名

サイクロン : インド洋、南太平洋

ハリケーン : 太平洋(赤道より北で、東経180度より東)、大西洋

台風(タイフーン) : 東アジア周辺の太平洋(赤道より北で、東経180度より西)

### ●私たちは台風に向けて何をすればいいのでしょうか？

台風は接近をあらかじめ知ることができる災害ですが、接近するよりも前に普段から備えを万全にしておきましょう。

いざ台風が接近した段階で行動するのは大きなリスクが伴います。

段階ごとにどのような備えや対応を私たちが取ることができるのか考えてみましょう。

#### ・普段から準備すべきこと

常日頃から側溝や排水溝の掃除をし、水はけをよくしておくことが大切です。

大雨が降ると、流れてきたゴミが詰まり水があふれ出すことで、水害を引き起こすことがしばしば報告されています。

また、避難場所への安全なルートの確認や家族との連絡の取り方、非常用の備品の準備を行いましょう。

#### ・台風の進路が分かったら準備すべきこと

台風が接近してくることが分かったら、天気予報の台風情報をこまめに確認しましょう。

雨雲の動きや各種警報に注意して準備を進めてください。

雨戸やシャッターを閉め、植木鉢を室内に入れたり、浴槽に水をためて断水に備えましょう。

一方で雨戸やシャッターがない住宅にお住いの場合、ガラスをテープで養生することも大切です。

また、自宅が浸水しやすい地域にある場合は、家電の電源を抜いて高所に移すなどの対策が必要です。

#### ・台風が通過しているときに絶対にしてはいけないこと

毎回のように台風が接近してから外出をして被害に会われる方がいらっしゃいます。

以下の三点は台風接近時には絶対に行ってはいけません。

- ① 田んぼや用水路の様子を見に行く
- ② 川や海岸の様子を見に行く
- ③ 屋外での作業を行う

心配なのは分かりますが、命あつての物種です。

最近、強い台風が日本列島を直撃することが多くなったので十分注意しましょう！

